

12
2/2

問1

1 (和同開珎)

発展

乾元大宝の発行を最後に、
平安末期に宋銭が流入するまでの間、
銭貨の流通は衰退した。

13
2/2

2 (撰銭令)

14
0/2

3 (✓ 天正)

天正大判は豊臣秀吉が鑄造させた。

1600年は慶長5年に当たる。この元号をもって「慶長小判」と呼ばれる。

15
0/2

4 (✓)

要復習

1772年に、金貨の二朱金と等価とする
計数貨幣の銀貨「南鐐二朱銀」が発行された。

16
2/2

5 (藩札)

17
1/2

6 (金融緊急措置令)

重複(-1)

18
2/2

問2

(a) (蓄銭叙位令)

発展

蓄銭叙位令発行後も、
通貨の流通範囲は畿内に限られていた。

19
2/2

(b) (借上)

20
0/2

(c) (✓)

要復習

元禄期に貨幣改鑄を建議した
基定吟味役は荻原重秀である。

21
2/2

(d) (称量貨幣)

「秤」が正しい。

22
0/2

(e) (✓ 渋沢栄一)

渋沢栄一は第一国立銀行設立に尽力した人物。
新貨幣条例による新貨幣制度を建議したのは
渡米中の伊藤博文である。

23
3/3

問3

首相 (田中義一)

恐慌 (金融恐慌)

<合格への一手>

貨幣・通貨史について、概ね理解できているが、理解が
不足している箇所もあるようです。貨幣・通貨史は入試で
頻出のテーマなので、復習に当たっては解答解説の「解説」
を一通り読み直して、時代ごとに知識を整理しておきましょう。